

平成30年(2018年)11月14日

保護者の皆様

札幌市立北小学校
校長 佐藤 裕子

全国学力・学習状況調査の結果及び分析について

初冬の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本校の教育に対しましてご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。

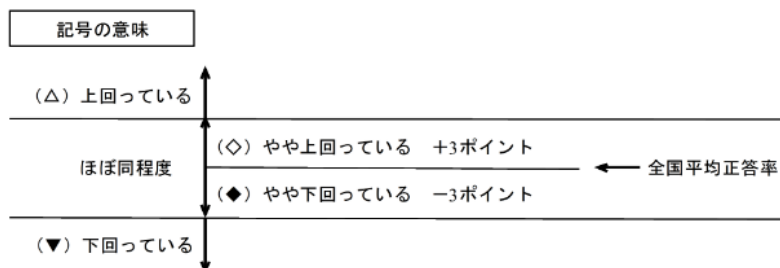
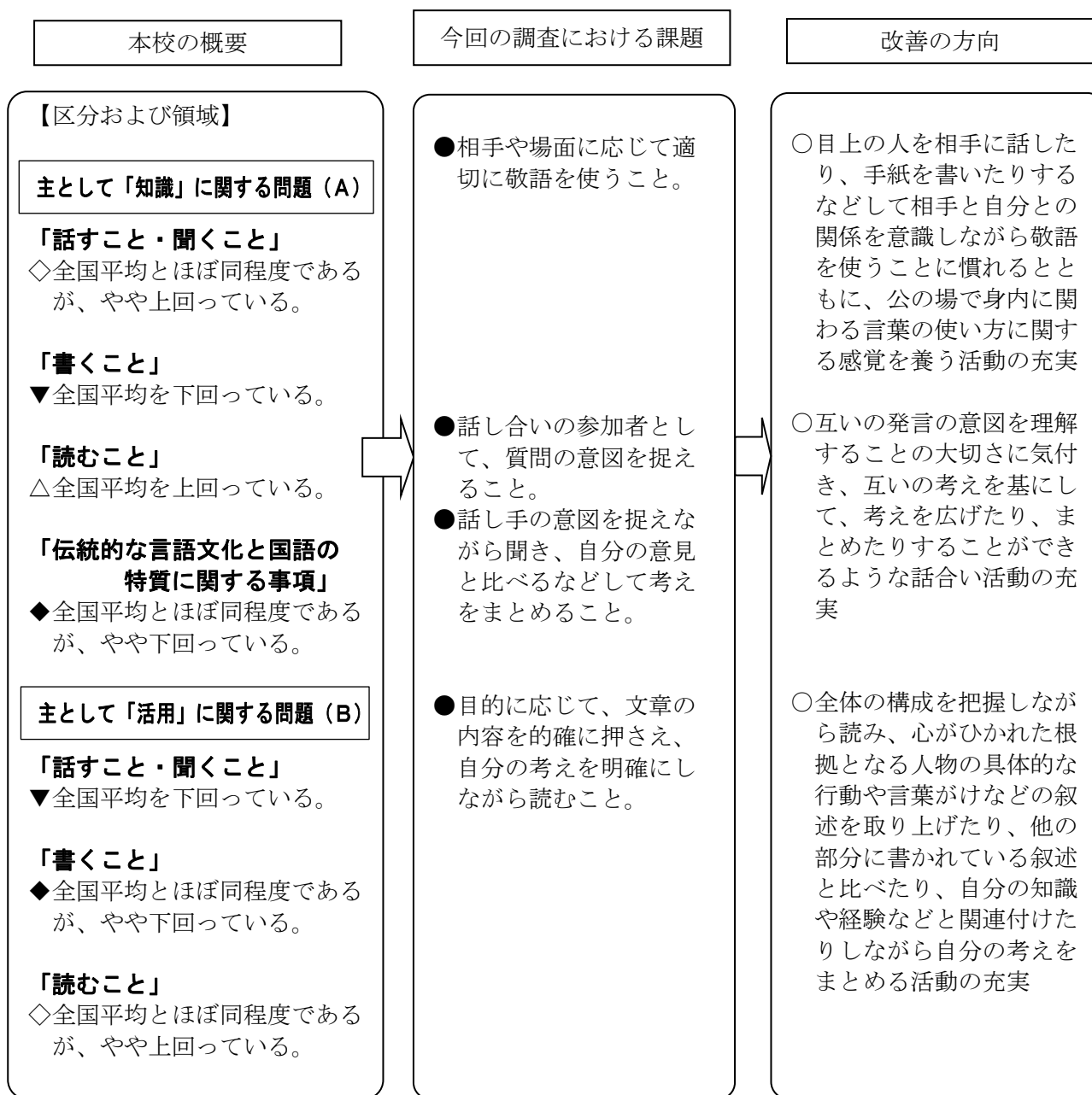
さて、4月17日に小学6年生と中学3年生を対象に全国一斉に行われました全国学力・学習状況調査の札幌市の結果及び分析が9月中旬に札幌市教育委員会から発表されました。これに合わせて、本校の6年生の学力・学習状況調査の結果及び分析をお知らせいたします。

なお、本調査は結果をもとに各学校における指導方法の工夫改善に生かすことを目的とし、調査結果は学力の一部であることも鑑み、札幌市教育委員会と同様、教科の領域ごと全国平均と比較する方法をとらせていただきました。

保護者の皆様におかれましても、今回の調査の趣旨をご理解いただき、本校の教育活動へますますのご協力をお願い申し上げます。

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

【国語】



* 「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して ±3 ポイントの範囲内。

【算数】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分および領域】

主として「知識」に関する問題（A）

「数と計算」

▼全国平均を下回っている。

「量と測定」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「図形」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「数量関係」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

主として「活用」に関する問題（B）

「数と計算」

▼全国平均を下回っている。

「量と測定」

▼全国平均を下回っている。

「図形」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「数量関係」

▼全国平均を下回っている。

●図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述すること。

●メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述すること。

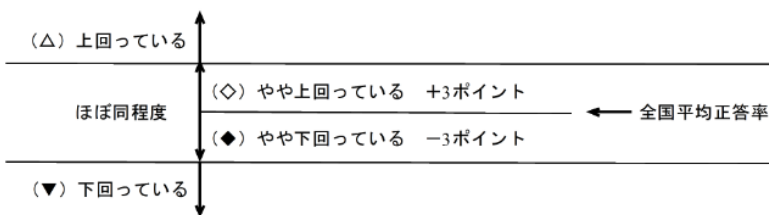
●示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述すること。

●折り紙の枚数が 100 枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述すること。

○算数の学習全般で、問題の解き方や自分の考えを記述したり、説明したりする活動の充実

○算数の問題場面における数量の関係を帰納的に考察し、見いだした数量の関係を式で表現する活動の充実

記号の意味



* 「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して ±3 ポイントの範囲内。

【理科】

本校の概要

【区分および領域】

「物質」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「エネルギー」

▼全国平均を下回っている。

「生命」

▼全国平均を下回っている。

「地球」

▼全国平均を下回っている。

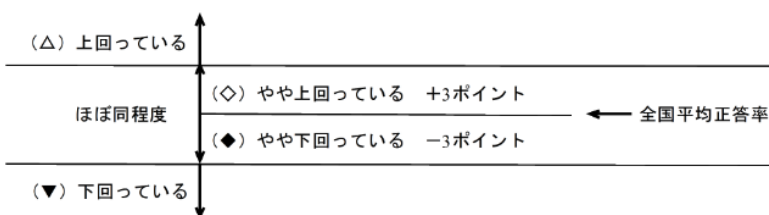
今回の調査における課題

- 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用すること。
- 電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想したり、実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善したりすること。
- 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用すること。
- 太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用すること。
- 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解すること。

改善の方向

- 既習の内容や生活経験と関連付けて話し合うなど、自然の事物・現象を捉えるような活動の充実
- 自らの予想や仮説を基に実験計画を立て、実験を行う前に、予想が確かめられた場合に得られる実験結果を見通すなどの指導の工夫
- 学習を通して明らかになった性質や働きを活用したものづくりを行い、つくったものが目的に合ったものになっているか振り返りなど、必要に応じて工夫・改善できるようにする指導の充実
- 地球の領域における目的に合わせた観察・実験を位置付け、得られた結果を基に「事実」と「解釈」を示しながら、事前の事物・現象を科学的な言葉で説明するなどの活動の充実

記号の意味



* 「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して ±3ポイントの範囲内。

【生活習慣や学習環境に関する質問紙】

平成30年度全国学力・学習状況調査では、子どもたちに対し62項目にわたって毎日の生活や学習に対する取組、将来に対する思い等多岐に渡って質問をしています。ここでは紙面の関係もありますので全国平均と比較して著しく違いがあった点をお知らせいたします。

<家庭生活の中から>

1. 朝食を毎日食べていますか。

あまりしていない、まったくしていない、の割合。(全国5.5% 本校13.0%)

朝食を食べずに学校へ来ている子が、本校には1割以上いるということです。

朝食をとらないと学校での学習時に集中できなくなります。毎朝、朝食をとって登校できるようにご家庭でもご配慮ください。

2. 新聞を読んでいますか。

ほとんど読まない、の割合。(全国60.9%、本校50.0%)

新聞を取っていない家庭も増えてきているようですが、本校では半数の子が時々新聞を読んでいるようです。新聞で社会の動きに関心をもつことが学習にも活かされてくることと思われま
す。図書室前の新聞コーナーが、より活用されるよう指導していきます。

<学習への取組に関わって>

1. 算数の勉強は好きですか。

当てはまる、どちらかと言えば、当てはまる、の割合。(全国60.0%、本校50.0%)

2番の内容と関わってきますが、内容は分かるようですので基本的な学習だけではなく、発展的な学習を取り入れて算数の面白さを実感できる授業を増やしていきます。

2. 算数の授業の内容はよくわかりますか。

当てはまる、どちらかと言えば、当てはまる、の割合。(全国83.4%、本校72.2%)

内容が分からない子は算数の勉強を好きになれないと考えられます。6年生はこれから小学校のまとめに入り、総復習をしていきます。大事な部分をしっかりできるようになって中学校へ進学して行ってほしいと思っています。

3. 今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などと思いませんか。

よく思う、の割合。(全国42.7%、本校51.9%)

社会科や理科は身のまわりのことがらに関心をもつことから始まります。本校では全国よりも高い関心をもっている子が多いです。また、上記の新聞を読んでいることから関心の高さが伺えます。関心をもったことがらを普段の学習で発揮できるように、理科や社会科で話し合い活動を充実していきたいと思っています。